



さいたま市生涯学習ビジョン

～ 生涯の学びを通じて 自分とまちが輝く未来 ～



令和3年3月

さいたま市教育委員会

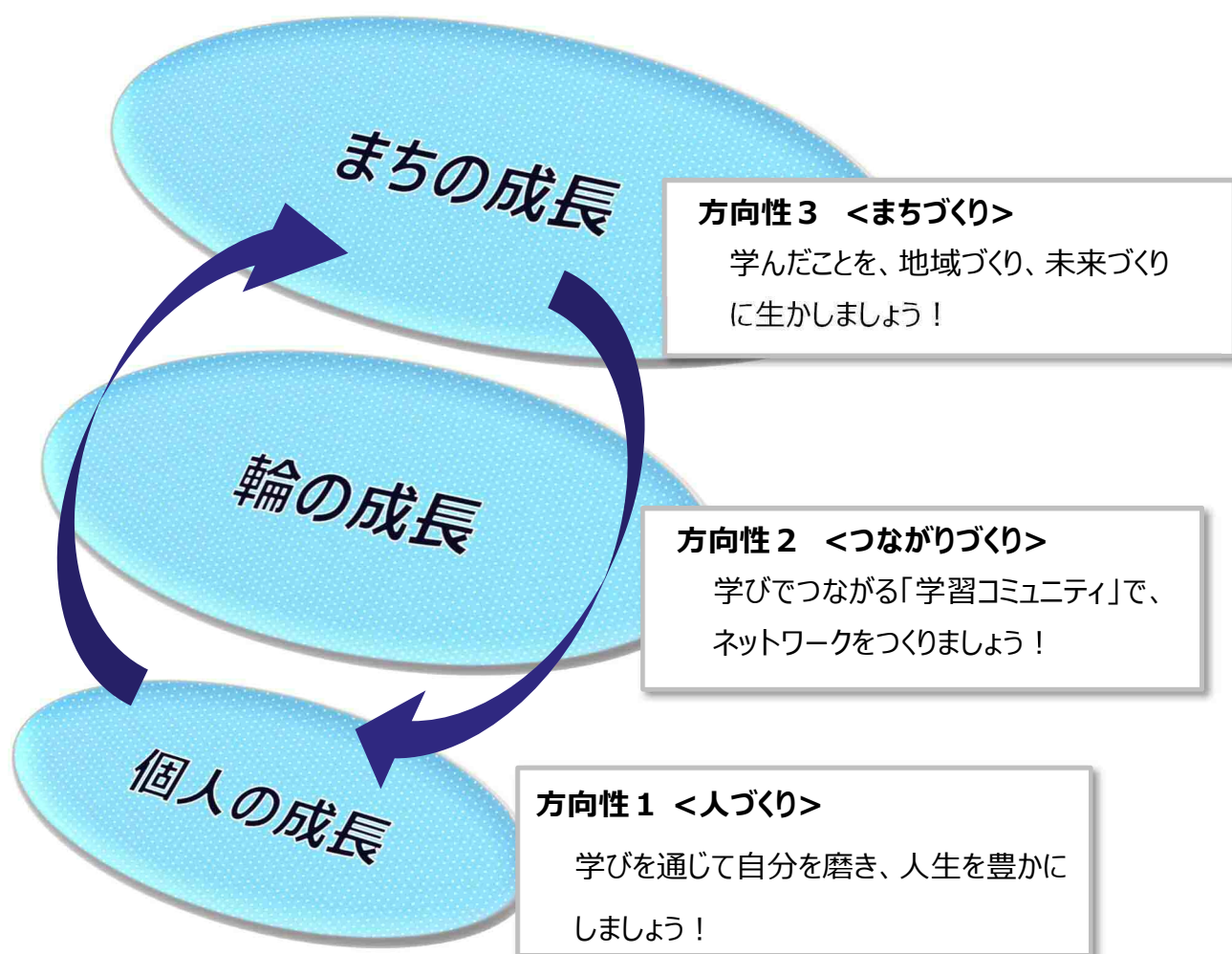
目次

さいたま市生涯学習ビジョン（概念図）	p.1
第1章 さいたま市生涯学習ビジョンに込めた思い	p.2
■ これからの時代に重要なことってなんだろう？		
■ なんのために学ぶのだろう？		
■ 新しい時代の新たな学びとは		
■ さいたま市生涯学習ビジョン策定のねらい		
第2章 さいたま市生涯学習ビジョンの目指す姿	p.4
「生涯の学びを通じて 自分とまちが輝く未来」		
■ さいたま市学びのサポート宣言		
第3章 ビジョン実現の方向性とサポート	p.6
方向性1 学びを通じて自分を磨き、人生を豊かにしましょう！		
方向性2 学びでつながる「学習コミュニティ」でネットワークをつくりましょう！		
方向性3 学んだことを、地域づくり、未来づくりに生かしましょう！		
資料編	p.9
■ 策定までの経緯		
■ ビジョンの位置付け		

さいたま市生涯学習ビジョン（概念図）

目指す姿

生涯の学びを通じて 自分とまちが輝く未来



さいたま市学びのサポート宣言
一人ひとりの学びに寄り添い、
市民とまちが輝く未来への扉を共に開きます。

第1章 さいたま市生涯学習ビジョンに込めた思い

■これからの時代に重要なことってなんだろう？

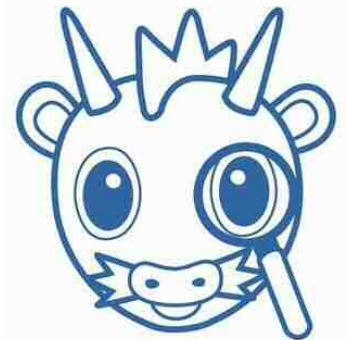
人工知能（AI）やロボティクス等の先端技術が生活の至る所で取り入れられる Society5.0 時代の到来を迎え、社会の在り方そのものが劇的に変わる状況が生じつつあります。また、私たちの命を脅かす感染症や大災害の発生など、まさに人生は想定外の出来事の連続です。それらを乗り越えるためにも、学んだことや経験を生かし、知恵を出し合い、力を合わせていく「協働」が大切です。

さらに、健康寿命が伸び、人生100年時代と言われる中、より多様で豊かな生き方・暮らし方が志向されています。こうした、マルチステージの人生では、リカレント教育などにより必要な資質・能力やスキルを更新することや、ICTなどの先端技術を最大限活用することが重要となってきます。

■なんのために学ぶのだろう？

私たちの日常生活では、楽しい、うれしい、困った、助けてほしいなど様々な感情や場面が生じます。もっとこうしたい、こうなりたいなどの気持ちから、私たちは学びと行動を積み重ねて、試行錯誤を繰り返しながら、目標達成や課題解決につなげていきます。つまり、学びは、自らの人生を切り拓く中で夢や志を実現してくれるツールであり、学び続けることは「生きる原動力」を磨き、自他の生命や財産を守ることに結び付きます。

本ビジョンにおいて、学びとは、学校での授業などのいわゆる「勉強」に限らず、人生のあらゆる出来事や経験を通して得られる知見なども含めて捉えています。複雑化・困難化した課題をどう乗り越えていくのか、学びから生まれる「何か」がそれを解く重要なカギとなります。



さいたま市 PR キャラクター

つなが竜 ヌウ



■新しい時代の新たな学びとは

今、社会が大きく変化し、これまで当然と考えられてきた認識や価値観等が劇的に変化する時代にあって、生涯学習社会における学びのパラダイムシフトが起きつつあります。ICTが学校教育の可能性を広げる中、オンラインなどの新しい技術を活用した「時間的・空間的な制約を超えた学び」により、大人の学びの幅も一層広がり、学びの姿も大きく変わろうとしています。



一方で、ICTが進化する時代だからこそ、自然や本物の芸術作品に直接触れる体験や対面での講座等に加え、学校・家庭・地域社会等による地域学校協働活動など、子どもからシニアに至る多世代の交流や、リアルな関係づくりをこれまで以上に大切にしたい学びも、社会を形成していく上で不可欠なものとなります。

新しい時代には、知識をインプットするだけでなく、生活上の困りごとや社会の課題の解決のために、他者と新たなアイデアや考えを出し合い共に行動したり、そうした行動から更なる学びに向かったりするといった、学びと活動を循環させていくことが一層必要となってきます。

■さいたま市生涯学習ビジョン策定のねらい

社会が地球規模で変化する時代にあって、生涯にわたる学びのあり方のそのものが大きく転換する今、学びの力や学びの持つ新たな可能性を市民の皆様と共有するため、「さいたま市生涯学習ビジョン」を策定しました。



本ビジョンの実現により、市民の皆様が学びを通じて豊かな人生をデザインし、自分らしく幸せに暮らせるよう、また、皆で学び支え合いつながることで、幸せが足し算されたり掛け算されたりして、まちが幸せにあふれ、市民の皆様とまちの未来が輝くことを心から願っています。そのために、さいたま市は、市民の皆様の「新しい時代の新たな学び」に伴走していきます。

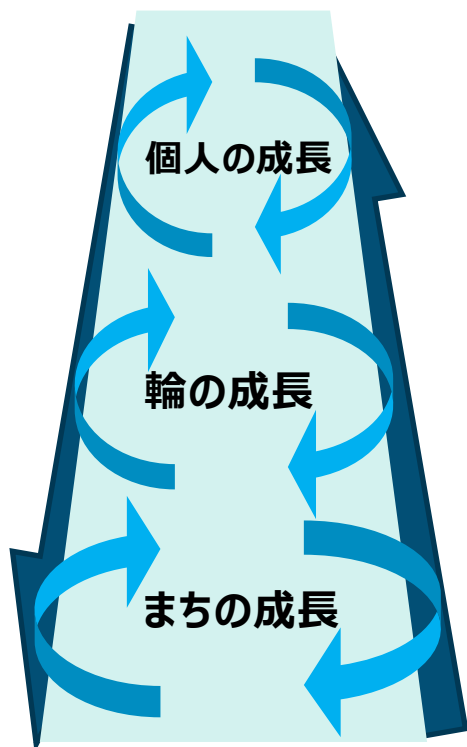
第2章 さいたま市生涯学習ビジョンの目指す姿

生涯の学びを通じて 自分とまちが輝く未来

生涯現役の時代にあっては、子どもからシニアまで全ての人が、元気に学び、活躍し続けられるまち、安心して幸せに暮らすことのできる未来を創ることが必要となります。そこで、ビジョンの目指す姿を「生涯の学びを通じて 自分とまちが輝く未来」としました。

ビジョンが実現されるプロセスとして、学びの積み重ねにより人が成長し（個人の成長）、人との出会いや学び合いにより人と人がつながり（輪の成長）、学び合いから生まれた支え合いにより輝くまちや未来が創られること（まちの成長）が期待されます。

ビジョンの実現を目指し、それぞれの成長がスパイラルに循環するよう、市民の皆様と一緒に生涯学習を進めていくことが重要と考え、「一緒に～しましょう！」という言葉を使い、3つの方向性を決めました。



方向性1 人づくり

学びを通じて自分を磨き、人生を豊かにしましょう！

方向性2 つながりづくり

学びでつながる「学習コミュニティ」で、ネットワークをつくりましょう！

方向性3 まちづくり

学んだことを、地域づくり、未来づくりに生かしましょう！

■さいたま市学びのサポート宣言

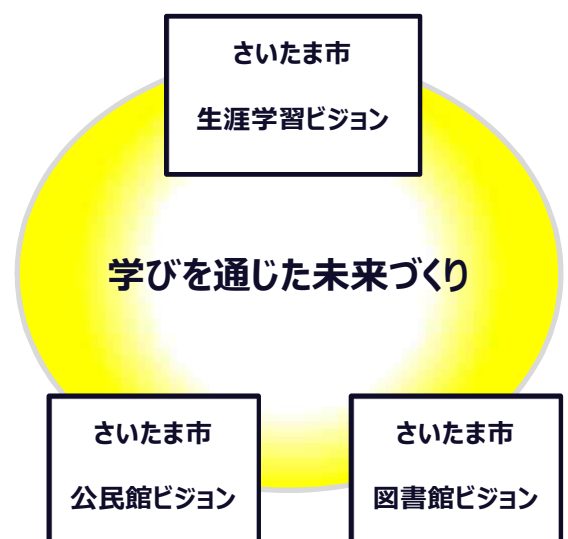
さいたま市は、「都市部に住みながらも豊かな水と緑を身近に感じることで、快適さとゆとりを同時に楽しみながら、生き生きと健康で安心して暮らせる新しいライフスタイルを生み出すことで、全ての人々が幸せを実感し、自ら暮らすまちに誇りを感じることができる都市」を目指しています。

また、日本一の教育都市の実現を目指して、独自の英語教育や情報リテラシー教育をはじめ、地域と学校が連携・協働して子どもたちをはぐくむ活動等のほか、公民館、図書館、博物館、美術館や他の多くの文化施設、スポーツ施設等で毎年魅力ある事業を展開しています。

今後は、本ビジョンの実現を目指し、全ての世代がライフステージに応じて学びをデザインすることができるよう、行政、企業、大学、市民団体、NPO等がネットワークを強くし、お互いに協働し合う関係づくりを一層推進していきます。そして、市民の皆様ニーズに応え、気持ちに寄り添い、学びを通じて市民とまちが輝く未来への扉を共に開いていきます。

本ビジョンを踏まえ、市民の皆様の身近な施設である公民館と図書館でも、学びを通じた未来づくりを共通の考えとしたビジョンを策定しました。

「さいたま市生涯学習ビジョン」「さいたま市公民館ビジョン」「さいたま市図書館ビジョン」の3ビジョンが一体となって、市民の皆様の学びに伴走しながらサポートしていきます。



第3章 ビジョン実現の方向性とサポート

方向性1 学びを通じて自分を磨き、人生を豊かにしましょう！

(個人の成長)

学習者のニーズ



- ・ 学ぶことで、新しい自分を発見し、新しい世界を知りたいです。
- ・ 人生を豊かにする選択肢を増やし、夢や目標を実現したいです。

さいたま市がサポートします！

【ひとづくり】

▶ 学びのきっかけや、魅力あふれる学びの場を提供します

- 学びのきっかけが見つかるよう、最新の情報提供を充実します。
- 学びの第一歩を応援する相談事業を通して、人と学びをつなげます。
- 文化芸術、スポーツ、現代的課題なども含めた広範なテーマについて、ライフステージに応じた学びの場を提供します。

▶ 専門的で質の高い学びの場を提供します

- 多様化する学習ニーズに対応するために、社会教育主事をはじめとした学びの伴走者が、大学や企業、NPOなどのノウハウや特色を生かした学びをコーディネートし、多種多様な学びの場を提供します。
- 高度化する学習ニーズに対応するために、学芸員、司書等に加え、大学や企業、NPOなどの高度な専門性を生かした質の高い学びの場、リカレント教育など、学び直しの場を拡充します。
- 本市に縁(ゆかり)のある貴重な学習資源や資料を収集し、紹介します。

▶ ICTを活用した「新しい時代の新たな学び」を提供します

- 社会全体のデジタル化が加速していく中、対面とデジタルのベストミックスを図った「新たな学び」を提供します。
- 情報格差(デジタル・ディバイド)を解消するための学びの場を提供します。
- 学校における1人1台端末を効果的に活用した学びを生かして、家庭・地域での学びの輪を広げていきます。

方向性 2 学びでつながる「学習コミュニティ」で、ネットワークをつくりましょう！

(輪の成長)

学習者のニーズ



- ・ 一緒に学び、やり遂げて、達成感や感動を味わいたいです。
- ・ 仲間を増やし、一人ではできなかったことを達成したいです。

さいたま市がサポートします！

【つながりづくり】

▶ 学びの仲間づくりを支援します

- 学びで結ばれた仲間や活動団体、地域団体等の交流を通して、多世代がつながりを深める場を提供します。
- 感染症拡大や自然災害等の危機においても、人と人のつながりが継続できるよう、オンラインやSNSなどでもつながることのできる場を提供します。
- 学びを通じて出会った人どうしが、サークルや教室などをつくって楽しく学びを続けられるよう支援します。

▶ 学びの輪・地域の輪づくりを支援します

- 学びを通じて身に付けた知識や技能等の成果が発揮でき、評価され、多くの人と触れ合うことのできる機会を充実します。
- 学びと活動を結び付ける役割を果たすコーディネーターやファシリテーターなど、人と人、人と地域のつながりや学びを促進する人材を育成します。
- 学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む「地域とともにある学校づくり」を進めるとともに、地域学校協働活動を推進し、「学校を核とした地域づくり」を進めます。

方向性3 学んだことを、地域づくり、未来づくりに生かしましょう！

学習者のニーズ

(まちの成長)



- ・ 学んだことを、他の人のために生かしてみたいです。
- ・ 誰もが自由に学べて、幸せに暮らせるまちに住み続けたいです。

さいたま市がサポートします！

【まちづくり】

▶ 学びと活動の循環により、地域コミュニティづくりを進めます

- 誰もが安心して暮らせる地域コミュニティづくりのために、行政、企業、大学、市民団体、NPO 等が、市民の皆様の学びの伴走者としてネットワークを組みます。
- 子どもからシニアまで多世代が生き生きと暮らせる地域コミュニティづくりに向けて、自分の経験や学びを学校や地域社会の中で生かし、活躍できる環境を提供します。
- 住んでいるまちに誇りと愛着を持ってもらえるよう、歴史、自然、文化、科学、さらには未来のポテンシャルなど、魅力あふれる情報を広く発信します。

▶ 全ての人々が元気に活躍し続けられる未来づくりを進めます

- 年齢、性別、国籍、障害の有無や、仕事を持っている人、子育てや介護をしている人など、様々な状況の違いに関わらず、豊かに学ぶことのできる環境を整えます。
- まちの自然や環境を保護し、未来へと継承するため、持続可能な社会づくりを目指す SDGs※を市民の皆様と共に推進します。

※SDGs (エス・ディー・ジーズ) は、経済・社会・環境をめぐる広範な課題を解決するため、2030 年に向けて世界が共に取り組む「持続可能な開発目標」です。SDGs では、「すべての人々に、だれもが受けられる公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する」という目標が掲げられています。

資料編



■ 策定までの経緯

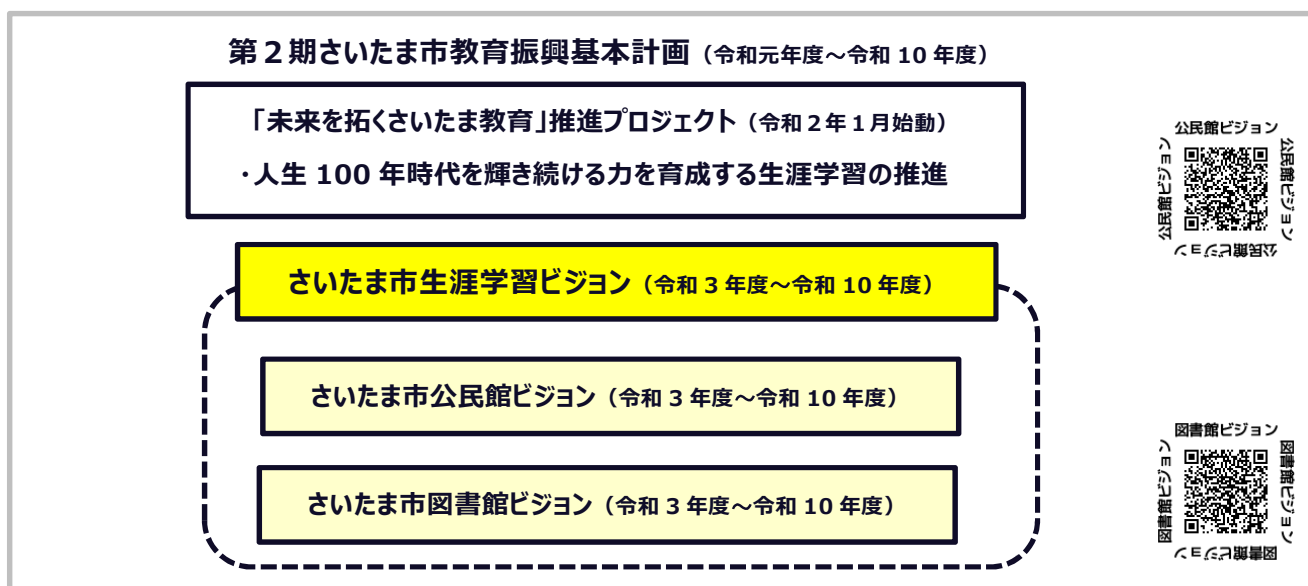
令和元年9月の第9期さいたま市社会教育委員会議答申では、新たな生涯学習社会の構築に向けて、「学びのきっかけづくり」や「学びと活動が循環していく環境づくり」が重要であると示されました。

この答申を踏まえ、本市の生涯学習のあるべき姿を探るため、数千人に及ぶ市民アンケート調査の分析結果を基に、令和元年度から2年度にかけて第10期さいたま市社会教育委員会議で議論を行うとともに、現場職員へのヒアリングや市長部局との意見交換等を実施しました。

以上のような議論、意見等を踏まえ、教育長が主宰する教育政策推進戦略会議において検討を加え、「生涯の学びを通じて自分とまちが輝く未来」を目指す「さいたま市生涯学習ビジョン」を令和3年3月に策定しました。

■ ビジョンの位置付け

「さいたま市生涯学習ビジョン」と、本ビジョンを踏まえて策定された「さいたま市公民館ビジョン」「さいたま市図書館ビジョン」は、第2期さいたま市教育振興基本計画のもと始動した「『未来を拓くさいたま教育』推進プロジェクト」の一部となっています。



本ビジョンの対象期間は、第2期さいたま市教育振興基本計画の期間と合わせ令和10年度までとしています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



さいたま市の公民館、図書館、博物館、コミュニティセンター、体育施設などの生涯学習関連施設では、環境、健康、福祉、文化、人権、文化財など SDGs に関連する様々な取組を実施しています。

「さいたま市生涯学習ビジョン」「さいたま市公民館ビジョン」「さいたま市図書館ビジョン」では、SDGs の掲げる「誰一人取り残さない世界」と同じ方向性を見据え、持続可能な未来づくりに貢献していきます。

さいたま市生涯学習ビジョン 令和3年3月

発行 さいたま市教育委員会
編集 さいたま市教育委員会 生涯学習部 生涯学習振興課
〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4
電話 048-829-1704（直通）
FAX 048-829-1989
Eメール shogai-gakushu-shinko@city.saitama.lg.jp

本冊子は●●,●●●部発行し、1部あたりの印刷経費は●●●円です。

(表紙写真：初夏の見沼田んぼから眺める芝川とさいたま新都心)